

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義	
科 目 名	老年期障害治療学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部 3年		学期	前期	教室名	801	
担 当 教 員	平 十 幸						
実務経験と その関連資格	【実務経験】 回復期リハビリテーション・障害者病棟・デイサービス・訪問リハビリテーションにて身体障害・老年期障害を中心とした作業療法に計10年間従事。現在も継続してデイサービス・訪問リハビリテーションで勤務。疾患としては脳血管疾患・認知症・整形疾患・呼吸器疾患・パーキンソン病・悪性腫瘍末期を中心に経験。回復期・障害者病棟では計600症例以上、デイサービスでは150症例以上、訪問リハビリテーションでは300症例以上経験。三療法士会地域人材養成派遣支援事業の運営・講師。京都府作業療法士会認知症事業推進部、地域委員会、災害対策委員会に所属。西京区認知症地域ケア協議会世話人。地域活動ではオレンジカフェの運営実行委員として参加。地域ケア会議・地域事例検討会に参加しながら高齢者の方のニーズを聞き、健康作りや通いの場の提供など活動支援を行っている。						
	【関連資格】 ・認知症ケア専門士 ・訪問リハビリテーション実務者研修終了 ・MTDLP実践者 ・臨床実習指導者講習会修了 ・認知症世界の歩き方 公認ファシリテーター						
《授業科目における学習内容》							
この授業では、老年期障害について幅広く理解し、老年期障害に配慮した評価実施・統合と解釈・治療計画・ゴール設定といった一連の流れが実施できるように設定している。加えて、実習に学習内容が繋がるように設定している。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験 :80% 小テスト :20%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
標準作業療法学 専門分野 高齢期作業療法学 作業療法全書 身体障害 (講義7回、8回 パーキンソン病)							
《授業外における学習方法》							
標準作業療法学 専門分野 高齢期作業療法学を読んでおくこと。 授業スライドの最終ページにある国試問題について学習すること。							
《履修に当たっての留意点》							
・老年期の基本的な問題点を説明できる。様々な情報から統合と解釈ができる。ゴール設定の仕方が説明できる。 ・加齢に伴う生理的老化・病的老化の違いを説明できる。・老年期疾患の特徴を説明できる。							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容		
第1回	授業を通じての到達目標	老年期、高齢者とは・高齢者の背景について理解し、説明できるようになる。		教科書 副教材	教科書P. 8～16(高齢社会)を読んでおくこと。		
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション・老年期、高齢者とは・高齢者の背景					
第2回	授業を通じての到達目標	生理的老化・老年期に多い疾患・廃用症候群について理解し、説明できるようになる。		教科書 副教材	教科書P. 39～50(高齢期の一般的特徴)を読んでおくこと。		
	各コマにおける授業予定	生理的老化・老年期に多い疾患・廃用症候群					
第3回	授業を通じての到達目標	認知症の特徴 中核症状・周辺症状 4大認知症について理解し、説明できるようになる。		教科書 副教材	教科書P. 64～74(認知症)を読んでおくこと。		
	各コマにおける授業予定	認知症の特徴・中核症状・周辺症状 分類と症状 4大認知症とは					
第4回	授業を通じての到達目標	認知症の特徴 中核症状・周辺症状 4大認知症について理解し、説明できるようになる。		教科書 副教材	教科書P. 64～75(認知症)を読んでおくこと。		
	各コマにおける授業予定	認知症の特徴・中核症状・周辺症状 分類と症状 4大認知症とは					
第5回	授業を通じての到達目標	認知症の方の支援方法		教科書 副教材	教科書P. 64～76(認知症)を読んでおくこと。		
	各コマにおける授業予定	グループワーク (認知症の方の事例検討)					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	パーキンソン病の4大徴候・諸症状・長期服薬の副作用について理解し、説明できるようになる。	教科書 副教材	作業療法全書 身体障害 P. 210～218(パーキンソン病)を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	パーキンソン病 4大徴候・諸症状・長期服薬の副作用		
第7回	授業を通じての到達目標	パーキンソン病に必要な評価項目、治療プログラムについて理解し説明できるようになる。	教科書 副教材	作業療法全書 身体障害 P. 210～218(パーキンソン病)を読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	パーキンソン病に必要な評価項目、治療プログラム		
第8回	授業を通じての到達目標	社会情勢の変化とターミナルケアの現状について理解し、説明できるようになる。	教科書 副教材	教科書P. 208～215(終末期においてアクティビティが影響を与えたケース)を読んでおくこと。
	各コマにおける授業予定	ターミナルケア 社会情勢の変化とターミナルケアの現状 ターミナル期における本人の意思決定について		
第9回	授業を通じての到達目標	介護予防について理解し、説明できるようになる。	教科書 副教材	教科書P. 124～128(介護予防の作業療法)を読んでおくこと。
	各コマにおける授業予定	介護予防 超高齢社会と地域包括ケアシステムについて これからの介護予防事業について		
第10回	授業を通じての到達目標	カルテの見方とICF分類方について理解し説明できるようになる。	教科書 副教材	これまでの授業の復習・各種疾患の特徴・作業療法を把握しておくこと
	各コマにおける授業予定	カルテの見方とICF分類(目的、SOAPの記載方法、他職種連携)		
第11回	授業を通じての到達目標	老年期に必要な評価が実演できるようになる。	教科書 副教材	教科書P. 78～93(高齢期作業療法の実践課程)を読んでおくこと。
	各コマにおける授業予定	老年期に必要な評価(人権と尊厳 高齢者の生活の見方 高齢期作業療法の実践課程)		
第12回	授業を通じての到達目標	老年期に必要な評価実演できるようになる。	教科書 副教材	教科書P. 78～93(高齢期作業療法の実践課程)を読んでおくこと。
	各コマにおける授業予定	老年期に必要な評価(人権と尊厳 高齢者の生活の見方 高齢期作業療法の実践課程) MTDLP演習①		
第13回	授業を通じての到達目標	老年期に必要な治療計画、ゴール設定の仕方について理解し説明できるようになる。	教科書 副教材	教科書P. 117～121(一般高齢者の作業療法)を読んでおくこと。
	各コマにおける授業予定	老年期に必要な治療計画、ゴール設定の仕方 MTDLP演習②		
第14回	授業を通じての到達目標	評価に必要な他職種から得る情報の列挙理解し説明できるようになる。	教科書 副教材	これまでの授業の復習・各種疾患の特徴・作業療法を把握しておくこと
	各コマにおける授業予定	事例検討① 評価に必要な他職種から得る情報の列挙		
第15回	授業を通じての到達目標	評価計画の立案ができるようになる。	教科書 副教材	これまでの授業の復習・各種疾患の特徴・作業療法を把握しておくこと
	各コマにおける授業予定	事例検討② 1週間の評価計画の立案		